営業の概況

1. 業績等の概要

第21期の(株)エフエム新津は、

①売り上げにつながる番組改編を行う。

②懇願型営業から企画提案型営業に軸足を置く。

③秋葉区近隣地域(阿賀野市、五泉市、田上町、江南区、南区)への浸透を図る。

以上の3本を営業の柱に据えて、収益の向上に努めました。結果、営業損失4,267千円、経常損失

4,045千円という決算となりました。

国内経済は、全体としては回復基調を辿っているとはいうものの、地域経済は、別けても中小の多くは、好循環を実感できないのが実態です。こうした中で迎える第22期は、推進体制を一新し

①積極的に取材に出向き、諸団体との連携を強固にする。

②過去3か年の間に、解約及び契約額減額に至った企業等を洗い出し、原因を究明する。

③花、鉄道、石油、里山など、まちの個性に磨きをかける報道姿勢を強化する。

④災害時におけるコミュニティ放送の有用性を、実績をもとにして公的機関にアピールする。

以上のことを実践することで、収益増を実現します。

今後とも株主各位のさらなるご理解とご支援をお願い申し上げます。

2. 営業成績及び財産の状況の推移

区分 \ 年度	23 (18期)	24 (19期)	25 (20期)	26 (21期)
営業収入(千円)	61,988	48,588	44,657	44,172
当期利益(千円)	4,732	△841	△1,270	△4,223
1株当たりの当期利益(円)	3,585	△637	△962	△3,199
総資産(千円)	53,751	51,576	49,789	46,474